

## リニアテクノロジー、新製品「LT1952MP/LT1952-1MP, LTC3900MP, LT4430MP」を販売開始 - 55 ~ 125 の接合部温度で動作する、高効率絶縁型同期整流式フォワード・コンバータ用 IC

2011年6月13日 - リニアテクノロジー株式会社は、「[LT1952/LT1952-1](http://www.linear-tech.co.jp)」、「[LTC3900](http://www.linear-tech.co.jp)」、「[LT4430](http://www.linear-tech.co.jp)」の高信頼性(MPグレード)バージョン「[LT1952MP/LT1952-1MP](http://www.linear-tech.co.jp)」、「[LTC3900MP](http://www.linear-tech.co.jp)」、「[LT4430MP](http://www.linear-tech.co.jp)」の販売を開始しました。これらのデバイスは、- 55 ~ 125 の動作接合部温度範囲で仕様が規定され製造時にテストが実施されており、これらを組み合わせることで、高信頼性高温対応の高効率(最大 95%)の絶縁型同期整流式フォワード・コンバータを構成することができます。1,000 個時の参考単価は、LT1952MP/LT1952-1MP(SSOP-16 パッケージ)が 935 円(税込み)から、LTC3900MP(SO-8 パッケージ)は 700 円(同)から、LT4430MP(TSOT-23 パッケージ)は 512 円(同)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細情報は、リニアテクノロジーWeb サイトをご参照ください(<http://www.linear-tech.co.jp/>)。

LT1952/LT1952-1 は、アクティブ・トランス・リセットを採用したシングル・スイッチ・フォワード・コントローラで、LTC3900 2 次側同期整流式ドライバにタイミング信号を供給します。LT4430 は高精度のリファレンス電圧を備えた 2 次側オプ्टドライバで、厳密な安定化が得られる絶縁型フォワード・コンバータ回路を完成します。LTC3900 と LT4430 については、最大動作接合部温度が 150 で仕様が規定されています。このタイプのフォワード・コンバータ設計は、テレコム、データコム、産業用、軍用/航空宇宙などのアプリケーションで見られる 12V、24V および 48V といった公称入力電圧に最適です。

LT1952/LT1952-1 は、アクティブ・クランプ・トランス・リセットを実装するのに必要なすべての機能を備えているので、従来のキャッチ巻線を用いたリセット方式や共鳴リセット方式に比べて、高い効率と高い電力密度を実現します。2 つの制御出力は、メイン・パワー・スイッチを制御し、とアクティブ・クランプ・スイッチ制御を備えています。この他に、100kHz ~ 500kHz の範囲でプログラム可能な固定動作周波数、最大 750kHz まで同期可能な動作周波数、選択可能な最大デューティサイクル、調整可能な同期タイミングの遅延、低電圧ロックアウト、100mV の低い電流検出スレッシュホールド、リーディングエッジ・ブランキング、プログラム可能なソフトスタートなどを特長としています。

### LT1952/LT1952-1, LTC3900, LT4430 の主な特長:

- アクティブ・クランプ・トランス・リセットを備えたシングルスイッチ・フォワード・コンバータ
- N チャンネル同期整流式 MOSFET ドライバ
- 高精度のリファレンス電圧搭載オプ्टカプラ・ドライバ
- - 55 ~ 125 の動作接合部温度範囲(LTC3900 と LT4430 は 150 )
- 同期タイミングの遅延を調整可能
- ヒステリシスをプログラム可能な高精度のシャットダウン・スレッシュホールド
- プログラム可能なスロープ補償とリーディングエッジ・ブランキング
- 調整可能な固定動作周波数: 100kHz ~ 500kHz
- 最大 750kHz まで同期可能な動作周波数

- 低い電流検出スレッショルド: 100mV
- 電流モード制御

フォトキャプション: 絶縁型同期整流式フォワード・コンバータ

Copyright: 2011 Linear Technology Corporation

# # #

## リニアテクノロジーについて

S & P 500 の一員であるリニアテクノロジーは、過去 30 年にわたり広範囲に渡る高性能アナログ IC の設計・製造及びマーケティング活動を行い、世界中の多くの企業に提供しています。リニアテクノロジーの半導体は、私たちのアナログ世界と「通信」、「ネットワーキング」、「産業」、「自動車」、「コンピュータ」、「医療」、「精密機器」、「民生」さらには「軍需航空宇宙」システムで幅広く使用されている、デジタル・エレクトロニクスとの架け橋の役目を担っています。リニアテクノロジーは、パワーマネージメント、データ変換、信号調整、RF、インタフェース、 $\mu$  Module サブシステムを設計・製造しています。

LT, LTC, LTM,  $\mu$  Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西 (かさい)

TEL: 0422-47-5319 Email: linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル 8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291(代表) [www.linear-tech.co.jp](http://www.linear-tech.co.jp)

本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

jhamburger@linear.com 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

ddickinson@linear.com 408-432-1900 ext 2233

以上